

CS通信

訓子府町 CS・学校運営協議会

地域みんなで学校応援団
 これまでのCS通信や学校運営協議会に
 関する情報はこちらへ 《訓子府町HP》→



CS(コミュニティ・スクール) 第2回学校運営協議会の開催

今年度2回目の学校運営協議会を10月31日にこども園で開催しました。まず、こども園、各学校から現在の状況や前期学校評価結果について報告がありました。新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行され、学校の活動への制限も少なくなり、各学校とも通常に近い取り組みが行われていることが報告されました。前期学校評価結果については、各学校とも、ほとんどの項目で高評価を得ていましたが、評価の低かった項目を課題として立てた対策や後期の取組について話されていました。



- <認定こども園>**学校評価から、コドモンでの情報発信を増やす必要があり、新たな機能の活用にも取り組む。保護者からエアコンの必要性についての意見があった。部会では、特別支援教育に関わり、障害児教育だけでなく、男女平等、ジェンダー教育、男性の育児参加などについても取組が必要との意見があった。
- <訓子府小学校>**学校評価では①学校に楽しく通っている、②居場所ある学級づくりに取り組んでいるが高評価となった。コロナ禍が明け、4年生のふるさと祭りへの参加や味の素食品のご協力をいただいた3年生のコーンレンジャーなどの活動ができた。また、新しい取組として5年生の津野町との遠隔交流が予定されている。①温かな言葉遣い、②体力：進んで歩いて登校の評価が低い。教職員全体で課題としてとらえ取り組むことを確認した。評議員会では、学校間の連携をさらに進めてほしい、端末の持ち帰りについて、学力面では学ぶ楽しさを実感させて欲しいとの意見があった。
- <居武士小学校>**学校評価では、学習面でも運動面でも高い評価となった。また、安心して楽しく学校に通うという心理的安全面も非常に高い評価となった。訓小との交流学習、こども園・訓中・訓高との交流、地域の方との関わりなど、ぬくもりのある活動が高い評価に繋がっていると考えている。後期は、挨拶、学習面では読書に力を入れたい。子供たちが困っていてもすぐに手を出すのではなく、見守り、困難をね返す骨太の子供を育てていきたい。
- <訓子府中学校>**コロナ禍が明け、運動会・学校祭を保護者・地域の方に来ていただき実施できた。教育目標「的確な判断と行動」する力を授業の中でも付けさせていきたい。働き方改革についてが課題、業務の精選や見直しが必要。生徒評価では、家庭学習と読書が課題。生活リズムを整えることを家庭と連携して進めたい。記述の多いトイレの匂いだが、根本的には解決できていない。給食時間を長くという意見には、配膳を工夫し3分ほど長くできた。保護者から部活の選択肢増の意見があるが、困難である。地域移行や社会教育との連携を進めていきたい。教職員の言動についてお叱りを受けた。研修などを重ねていく。
- <訓子府高校>**学校評価は、前期は教職員の自己評価のみ。信頼される学校づくりの項目が改善された。教職員がスクールミッション、ポリシーを意識して取り組んだ成果と考える。高校は昨年度から新しい指導要領となった。従来の授業から、個に応じた、教科横断的、ICTを活用した授業を進めていかなければならないが、基礎基本を育ててから+αを目指していく。働き方改革も進めなければならないが、若い教員が多く、遅くまで残っているのが現状である。卒業生の進路では、現在10名中9名が決定した。
- <グループ協議>**3グループに分かれ、「現在のくねっぶ学や各学校の連携」について話し合いました。その中で、「くねっぶ学や各学校の連携などの経験は素晴らしい。大切にしてほしい。」「数多く行われているが整理も必要。」「地域資源を活用し、引き継いでいくことが大切。」「訓子府は農業の先進地、栽培だけでなく流通や販売を学ぶことで社会を学ぶことができる。」など多くの意見をいただきました。

◇くねっぴ学「コーンレンジャーJr隊」◇



味の素食品北海道㈱のご協力で、トウモロコシの栽培体験と収穫されたトウモロコシが製品になるまでを学ぶために工場見学をさせていただきました。訓小3年生と居小3・4年生の合同学習でした。

◇スクールサポーター・学校応援団「絵手紙教室・陶芸教室・養蜂交流・訓子府を食べよう」◇



スクールサポーターや学校応援団による授業です。写真左から、居小3・4年生の絵手紙教室、5・6年の陶芸教室、こども園の菅野養蜂場との交流、訓小・居小5年生の「訓子府を食べよう」です。

◇町内こども園・学校による連携◇

〈走り方教室〉 小中連携：訓中体育教諭による短距離走・長距離走の指導



〈音楽交流・保育交流〉 幼高連携：訓高生と園児との交流



〈訓中訓高協働農作業・訓高訪問〉 中高連携

〈訓高出前授業「居小：星の学習」〉 小高連携



今年度は、こども園・訓子府小学校・居武士小学校・訓子府中学校・訓子府高校が連携した交流や授業が数多く行われています。このほかにも、訓小・居小の交流や合同学習も行われています。また、先日の居小の研究授業には、こども園・訓小・訓中の教員も参加するなど教職員の交流も深まっています。